

加藤 克之 議員

無会派

保育所の土曜日受け入れ拡大を

問

近年、子育て世代の勤務体系は、さまざまであるため、土曜日保育時間の受け入れ拡大を考えて欲しいがどうか。

様々な問題があるので、今後の研究課題としたい

答 民生部長

本市の保育所の土曜日受け入れ時間は、午前8時から正午までである。

保育士の仕事には、子どもを保育する以外、教材の準備、保護者との連絡・相談、保育計画や記録の作成、専門機関との連携、土日開催の地元行事への参加、専門性を高めるための集団研修への参加などもあり、保育士が不足している現状、休日の割り振りができない、

土日の行事の振休をとるのが難しい状況である。

また、昼の給食、食物アレルギー対応の問題のほか、完全週休2日制を含め、保育所職員のワーク・ライフ・バランスを確立するための職員配置基準の改善による保育士の増員の必要性などさまざまな問題があるため、今後の研究課題としていきたい。

なお今後も、土曜日の保育を希望される方は、市内の認定こども園「弥富はばたき幼稚園」、市外では広域入所による受け入れにより対応していきたい。

市制10周年記念事業として「地産地消サミットin弥富」の開催を

問

地産地消【】のPR、市

民参加を目指した、市制10周年記念事業として「地産地消サミットin弥富」を考えてみてはどうか。

地域で生産されたものをその地域で消費すること。

地元農作物PRをJA、商工会と検討していく

答 商工観光課長

近年においては、地産地消の取り組みが注目されており、JAあいち海部の農産物直販所や立田地区にある道の駅では、新鮮で比較的安価な地場農産物の販売が見受けられるほか、市内のスーパーでも地場の農産物を取り扱うところが増えてきている。また、保育所の給食においても地場農産物を積極的に利用している。提案のあったサミットは、時間的に難しかったため、それにかわる地元農産物消費拡大のPRをJAと協議し、進め方を検討したい。

答 市長

市制10周年記念事業は、

7月2日を皮切りに年内に多くのイベントを開催していく予定である。また、商工会では、農作物も含めた形でのイベントを検討していただいている。詳細については、決まり次第報告していきたい。

十四山地区に防災設備を

問

十四山地区の西蜷、東蜷、四郎兵衛、亀ヶ地、竹田、子宝に一時避難所はあるか。また、十四山地区に総合的な防災設備の建設を。

現存の避難所と自助・共助で地域の現状認識を

答 総務部長

十四山地区には、十四山支所、十四山中学校、海翔高校、孫宝第2排水機場、長寿の里・十四山、野村胃腸科、十四山保育所の7カ所の一時避難所がある。

地区ごとにどこへ避難するか計画・指示はないが、市の防災ガイドブックで一

番近いところへ避難することをお願いしたい。

答 市長

26年に当市をモデルにした愛知県の防災局から避難シミュレーションが実施された。これには、沿岸部に津波が到達する時間が、最大震度の場合、約80分かかると発表されている。そのことを踏まえ、それぞれの自治会が、それぞれの学区、地域の中で、それぞれの拠点からどれぐらいかかるかについても、自主防災組織や避難訓練などで実測をしていただきたい。

自分の身は自分で守る、または共助の精神で、自主防災組織の中で地域の現状を再認識していただきたい。市として、防災・減災を念頭に、さまざまな一時的な避難場所を設定していきたいと考えるが、今、財政は大変厳しい状況である。市民の意見をいただきたい。市民の意見が、安心・安全なまちづくり、さらに災害に強いまちづくりをしていきたい。